

2014年第3問


 数理  
石井

3  $a_n = -2n + 212$  で定められる数列  $\{a_n\}$  を次のような群に分け、第  $k$  群には  $k$  個の項が入るようにする。

$$a_1 \quad | \quad a_2, a_3 \quad | \quad a_4, a_5, a_6 \quad | \quad a_7, a_8, a_9, a_{10} \quad | \quad \dots$$

第1群      第2群      第3群      第4群

第  $k$  群に含まれるすべての項の和を  $S_k$  とするとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $S_k$  を求めよ。
- (2)  $S_k$  が最大となる群に含まれる項の平均値を求めよ。
- (3)  $|S_k| = |S_{k+1}|$  を満たす  $k$  を求めよ。

(1) 第1群 ~ 第  $k-1$  群に入っている項の数の和は、 $\sum_{i=1}^{k-1} i = \frac{1}{2}(k-1) \cdot k$

$\therefore$  第  $k$  群の最初の項は、 $a_{\frac{1}{2}k(k-1)+1} = -2\left\{\frac{1}{2}k(k-1)+1\right\} + 212$   
 $= -k^2 + k + 210$

第  $k$  群の最後の項は、 $-k^2 + k + 210 + (k-1) \cdot (-2) = -k^2 - k + 212$

$\therefore S_k = \frac{k}{2} \left\{ -k^2 + k + 210 + (-k^2 - k + 212) \right\} = \underline{\underline{-k^3 + 211k}}$  //

(2)  $S_{k+1} - S_k = -3(k^2 + k - 70)$

$\therefore$  はじめて  $S_{k+1} - S_k < 0$  とするのは、 $k > \frac{-1 + \sqrt{281}}{2}$  ( $k$ : 整数より)  $k = 8$

このとき、 $S_8 = 1176$ ,  $S_9 = 1170$  とする

$\therefore k = 8$  のとき、平均値は  $\frac{S_8}{8} = \frac{1176}{8} = \underline{\underline{147}}$  //

(3) (2) より、 $S_{k+1} = S_k \iff k^2 + k - 70 = 0$  より、そのような  $k$  はない

$\therefore S_k = -S_{k+1}$  をみたすときを考えると、 $S_k = 0$  とするのは、 $k = \sqrt{211}$

$14 = \sqrt{196} < \sqrt{211} < \sqrt{225} = 15$

このとき、 $S_{14} = -14^3 + 211 \cdot 14 = 210$ ,  $S_{15} = -15^3 + 211 \cdot 15 = -210$

$\therefore \underline{\underline{k = 14}}$  //